

# 平成16年度 新規着工準備箇所

担 当 課：本省都市・地域整備局街路課  
担当課長名：齊藤 親

<b>事業名</b> JR函館本線連続立体交差事業 (野幌駅付近) <small>はこだてほんせん のっぽろ</small>	<b>事業区分</b> 連続立体交差事業	<b>事業主体</b> 北海道
<b>起終点</b> 自：北海道江別市野幌松並町 <small>えべつ のっぽろまつなみちよう</small> 至：北海道江別市高砂町 <small>えべつ たかさごちよう</small>	<b>延長</b> 2 km	

**事業概要**： 本事業はJR函館本線の野幌駅付近（2km）を連続立体交差化し、踏切2箇所（うちボトルネック踏切2箇所）を除去するとともに道路交通の円滑化を図るものである。

**事業の目的、必要性**： 連続立体交差事業にあわせ、野幌駅の駅前広場や都市計画道路等の都市基盤を整備し、渋滞の解消と事故の防止を図るとともに、周辺のまちづくりを進め、地域の活性化・一体化を図るものである。

<b>全体事業費</b> 約150億円	<b>踏切交通遮断量</b> 11万台時/日
<b>費用便益比</b> B/C 2.0	<b>総費用</b> 120億円
<b>事業費</b> 120億円	<b>総便益</b> 234億円
<b>維持管理費</b> 0億円	<b>基準年</b> 平成15年
	走行時間短縮便益： 213億円 走行費用減少便益： 21億円 交通事故減少便益： 0億円

- 事業の効果等**：
- ・都市圏の交通円滑化の推進（現道の踏切除却や都市計画道路などの都市基盤整備による交通の円滑化）
  - ・中心市街地の活性化（野幌駅前広場整備等の中心市街地内での都市基盤の整備）
  - ・その他（鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消）

**関係する地方公共団体等の意見**： 北海道の総合計画で鉄道の高架化の推進が位置付けられているとともに、北海道および江別市より早期実現の要望を受けている。

**事業概要図**：

凡	例
——	供用中
----	事業中
▨	平成16年度新規着工準備
○	踏切
●	既設立体交差

